

ベビーロック

I H O J I N

衣縫人

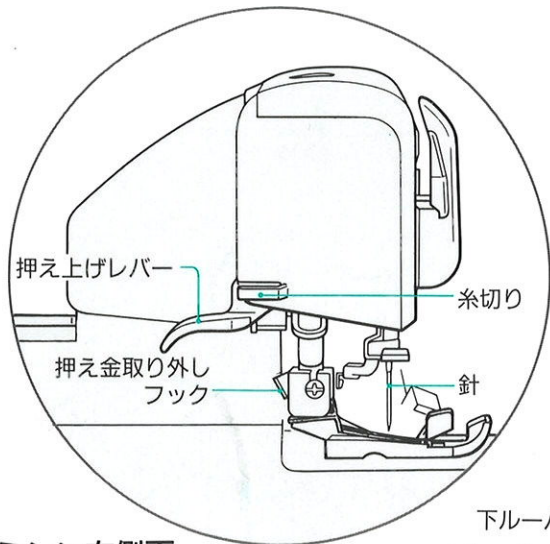
1本針3本糸ロックミシン

このたびはベビーロックをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
 ・ご使用前に、この『ご使用の手引き』をよくお読みいただき、正しくお使いください。
 ・保証書はお買い求めの販売店から必ずお受取りの上、『ご使用の手引き』とともに大切に保管ください。

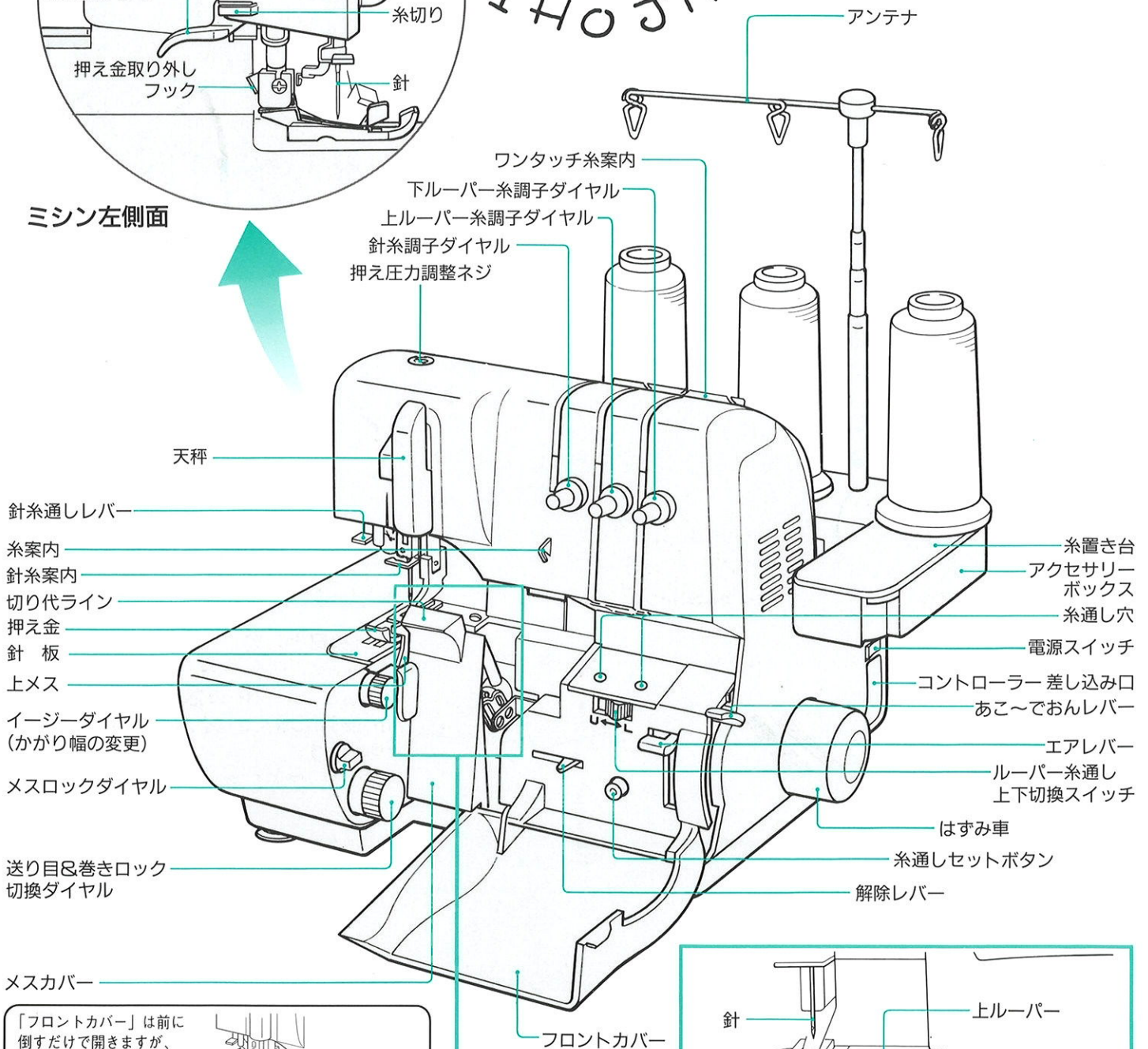
目次

各部の名称と付属品	1	糸調子（糸のバランス）の調整	13
縫うための準備	3	かがり幅と送り目の調節	14
試し縫い		上メスの固定／押え圧力の調節	15
(1)縫い始め	4	巻きロックでの縫い方	16
(2)縫い終わり	5	押え金の取り付け・取りはずし方 ／バルキー押えの使い方	17
糸かけ		針・メスの交換	18
(1)糸かけの準備	6	あこ〜でおん(差動)レバーの使い方	19
(2)下ルーパー糸のかけ方	7	修理を依頼される前に	20
(3)上ルーパー糸のかけ方	8	仕様／注意事項	21
(4)針糸のかけ方	9		
(5)糸かけが終わったら	11		
(6)太い糸のかけ方	12		

各部の名称と付属品

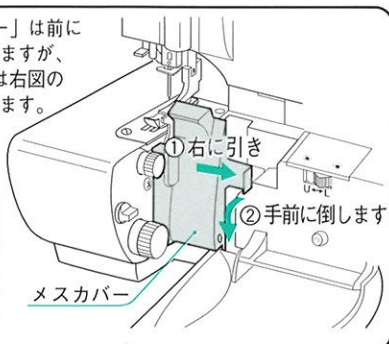


ミシン左側面

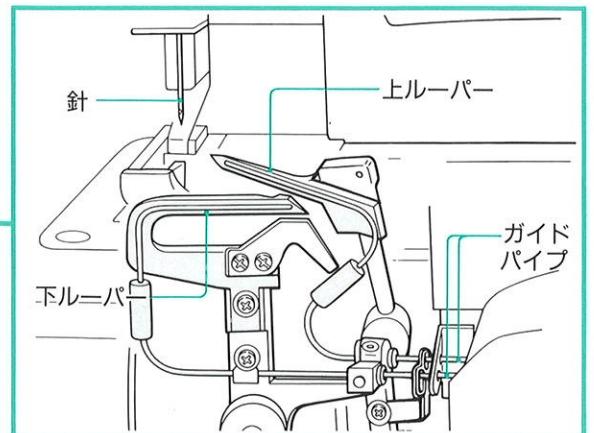


「フロントカバー」は前に倒すだけで開きますが、「メスカバー」は右図のようにして開きます。

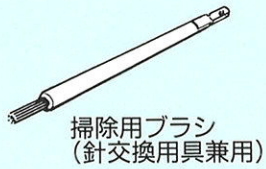
注意
ケガの原因になります。
縫う時は必ずカバーを開けてください。



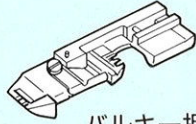
メスカバー



アクセサリボックス内の付属品



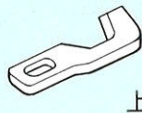
掃除用ブラシ
(針交換用具兼用)



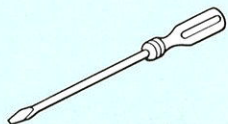
バルキー押え
(BL35のみ)



ピンセット



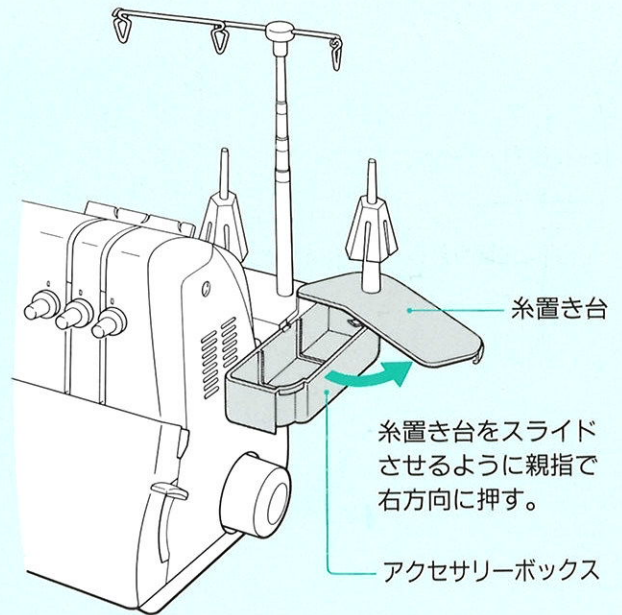
上メス



ドライバー(小)



針 (HA×1SP#11)

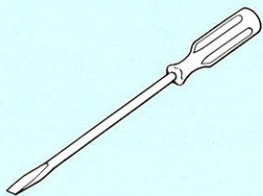


糸置き台

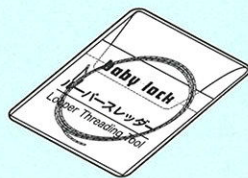
糸置き台をスライドさせるように親指で右方向に押す。

アクセサリボックス

付属品(アクセサリ)



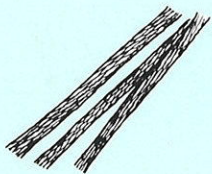
ドライバー(大)



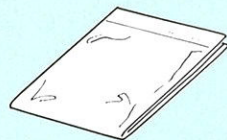
ルーパースレッダー



駒受け (3個)



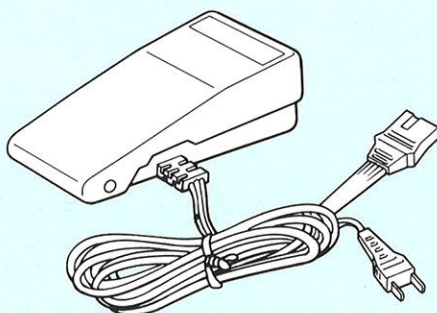
ベビーネット (3つ)



ミシンカバー

その他

- ・保証書
- ・ご使用の手引き



コントローラー

ルーパースレッダーの使い方

「エアスルーシステム」のパイプの掃除具として、また「糸通し穴」に特に入りにくい糸を通す糸通し具として、使用すると便利です。

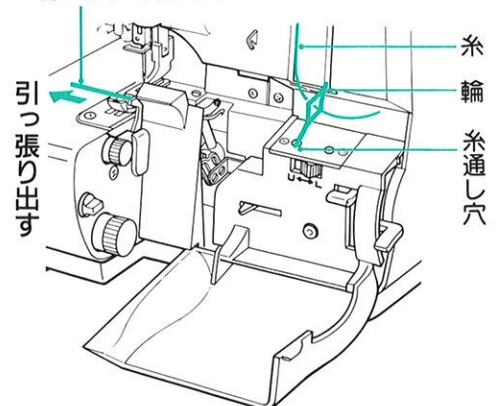
①掃除具として

「糸通し穴」から《ルーパースレッダー》を差し込み、ルーパースレッダーの先端から出てきたら引っ張り出します。パイプにたまった糸クズが取れます。

②糸通し具として

《ルーパースレッダー》の輪に、通したい糸を数cm入れ、①と同様に「糸通し穴」に差し込んで、ルーパースレッダーの先端から引っ張り出します。

ルーパースレッダー

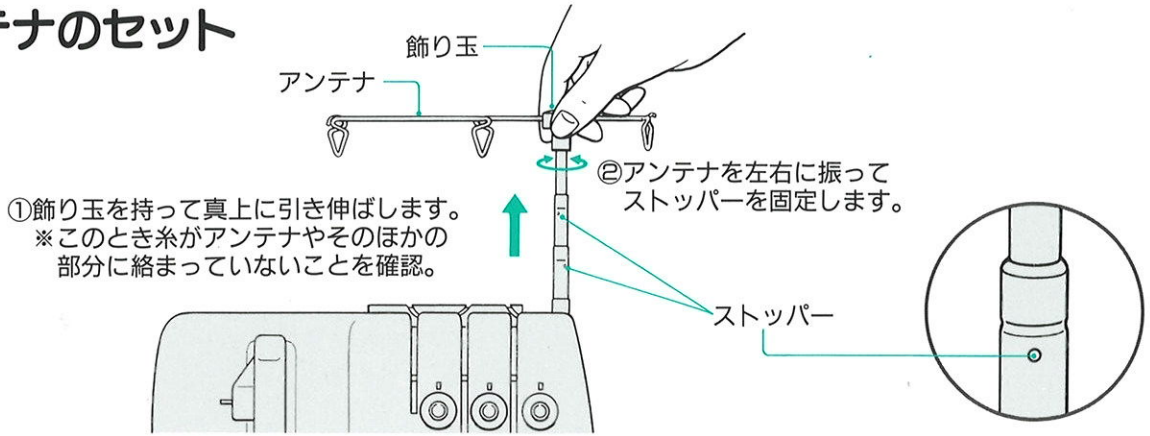


引っ張り出す

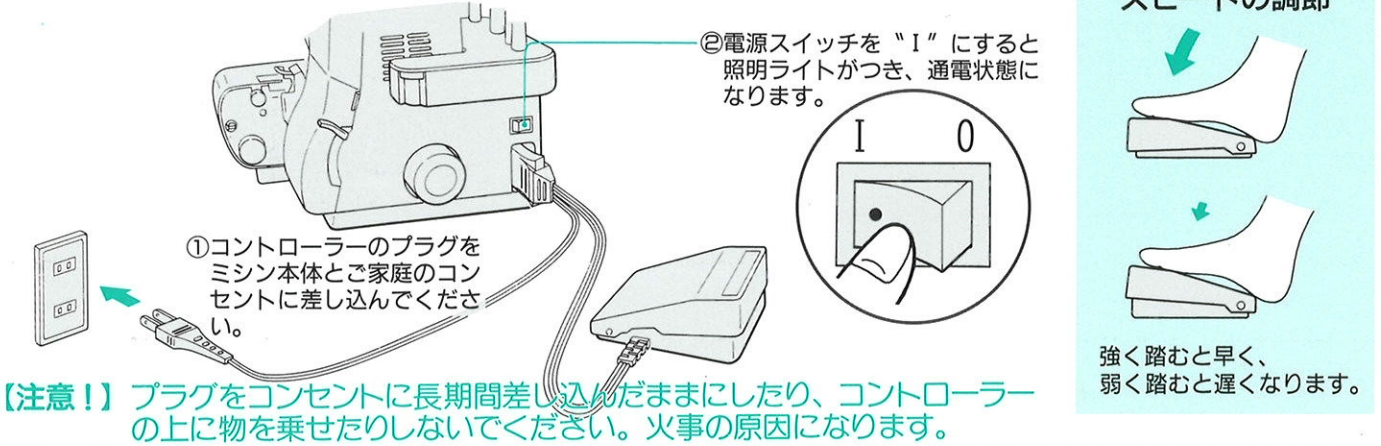
糸輪
糸通し穴

縫うための準備

(1) アンテナのセット



(2) コントローラーのセット

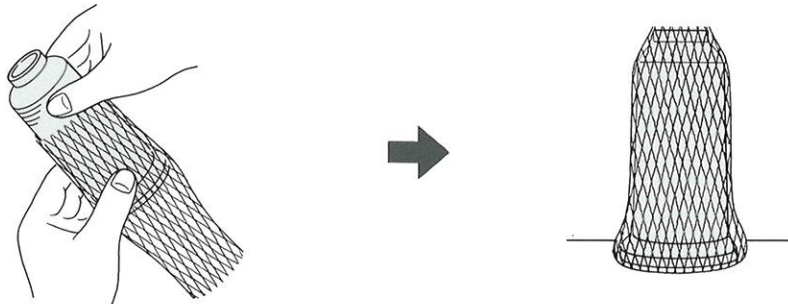


(3) 糸について (テトロン糸、スパン糸、ウーリー糸、飾り糸、穴糸、金糸など)

(市販されているほとんどの糸を使用することができます。)

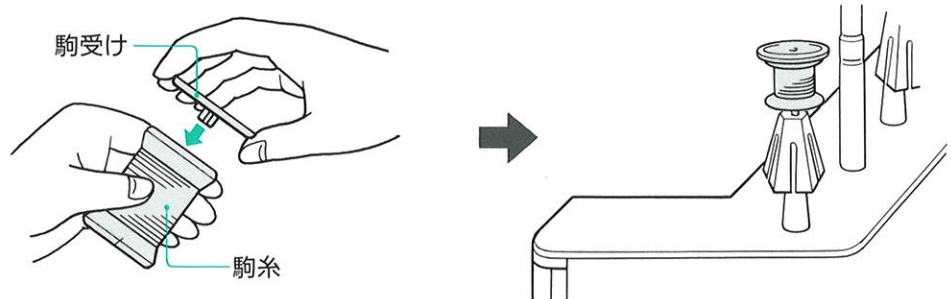
ベビーネットの使い方

化繊糸などのすべりやすい糸は、
付属の「ベビーネット」をご使用
ください。



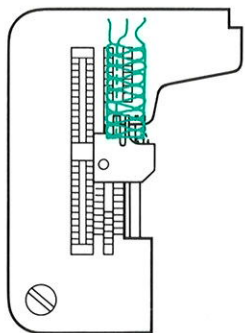
駒受けの使い方

普通、ロック糸を使用しま
すが、駒糸も使用できます。
その場合は付属の「駒受け」
をご使用ください。

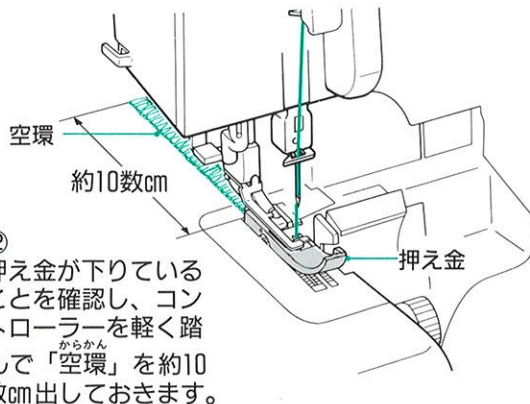
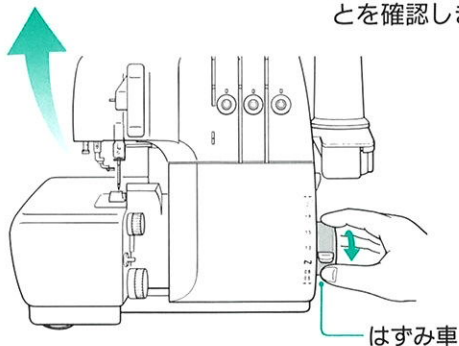


試し縫い

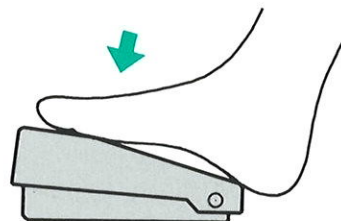
(1)縫い始め



① 「はずみ車」を手前方向に手で数回まわし、針板のツメに糸がかかっていることを確認します。



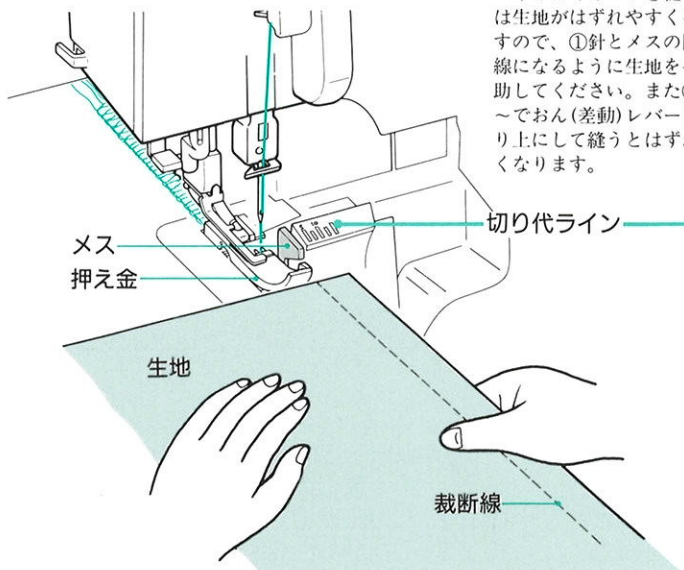
② 押え金が下りていることを確認し、コントローラーを軽く踏んで「空環」を約10数cm出しておきます。



メスに裁断線を合わせて、生地を置きます。このとき、押え金を上げる必要はありません。縫いはじめると生地は押え金の下へ自然と入っていきます。

〔ワンポイント〕

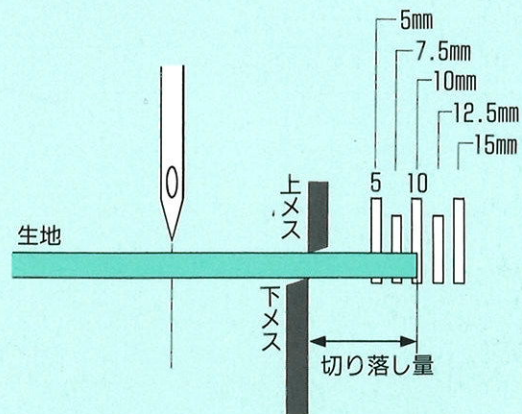
バイヤスやカーブを縫うときは生地がはずれやすくなりますので、①針とメスの間が直線になるように生地を手で補助してください。また②あこ〜でおん(差動)レバーをNより上にして縫うとはずれにくくなります。



縫うときは、右手は生地を軽く持って、左手は生地を軽く押えます。

(切り代ラインの使い方)

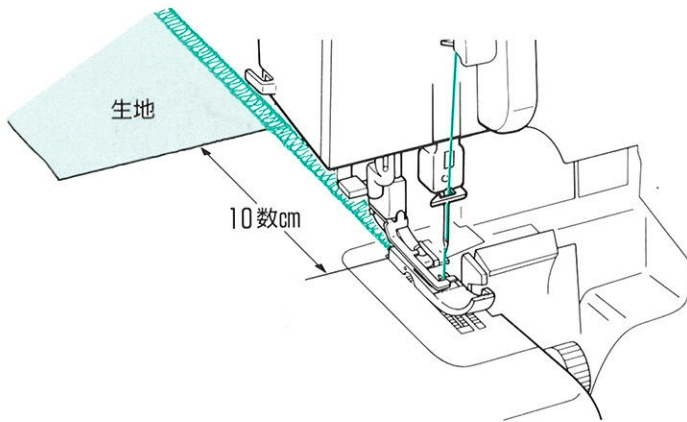
切り代ラインは、メスで切り落とす生地量の目安です。生地端を5の線に合わせて約5mm切り落とし、10の線に合わせて約10mm切り落としします。



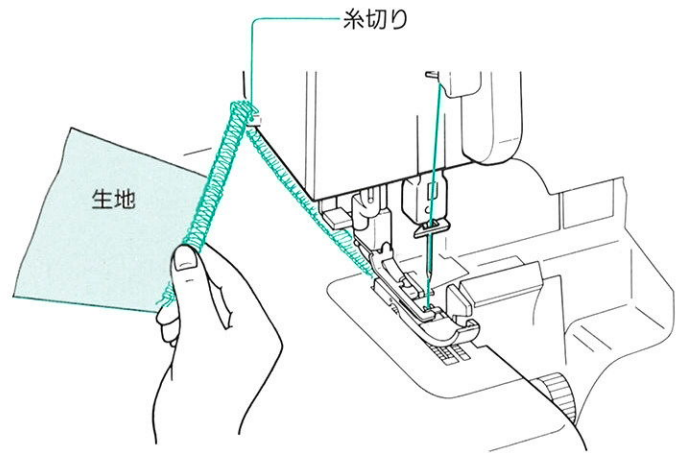
※切り代ラインは目安ですので、正確を要する場合は試し切りを行い、確認してから縫い始めてください。

【注意！】 針・ルーパー・メスの動く範囲に指や手を持っていかないでください。ケガをする恐れがあります。

(2)縫い終わり



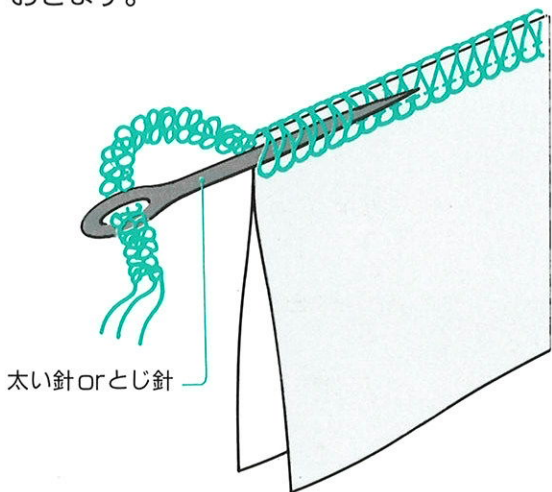
- ①
生地を縫い終わりましたら、そのまま空縫いをし「空環」を10数cm出しておきます。



- ②
最後に「糸切り」で「空環」を切ります。

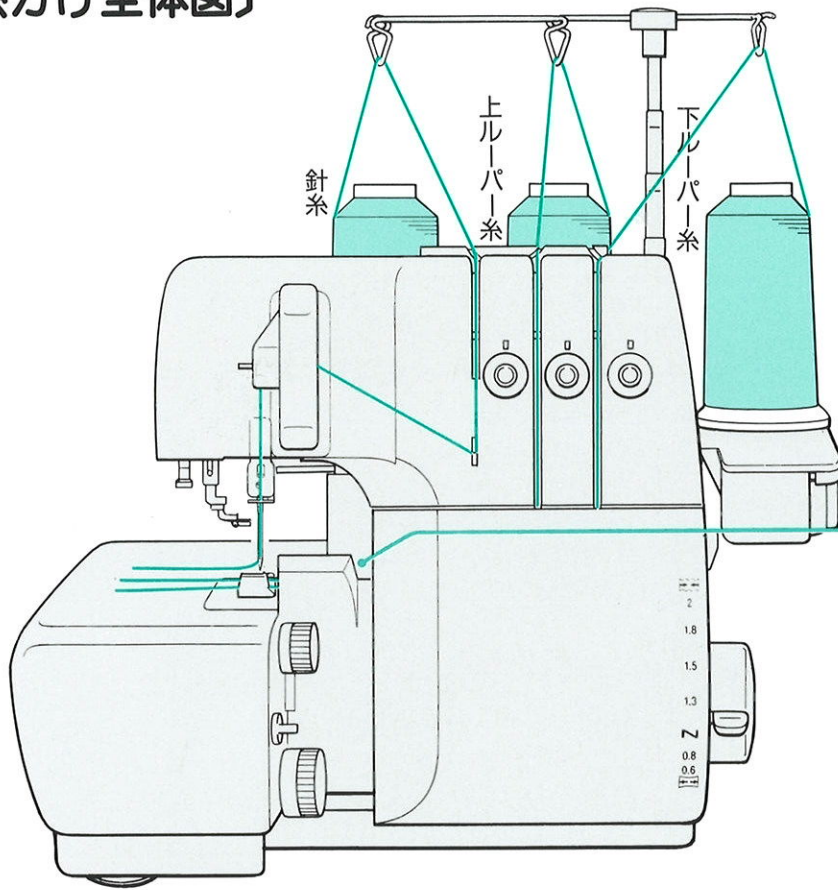
「空環」の始末

縫い終わった後、「空環」はとじ針で裏の縫い目に通しておきます。



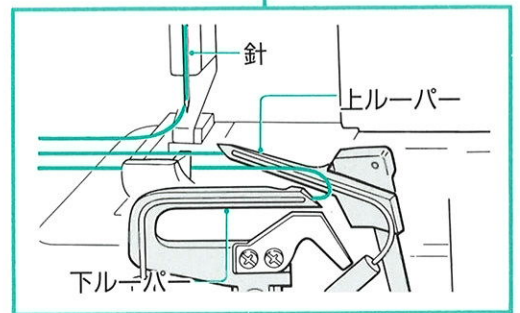
糸かけ

〔糸かけ全体図〕

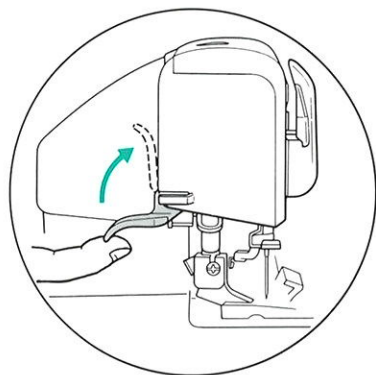


どの糸からかけてもかまいません。

糸が切れた場合はその切れた糸だけをかけ直してください。

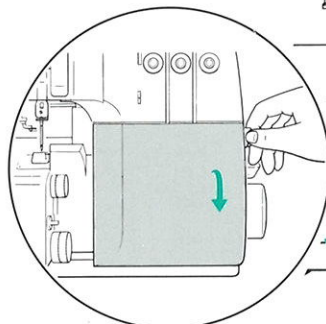


(1)糸かけの準備 糸かけをする時は、必ず「はずみ車の固定」を行ってください。

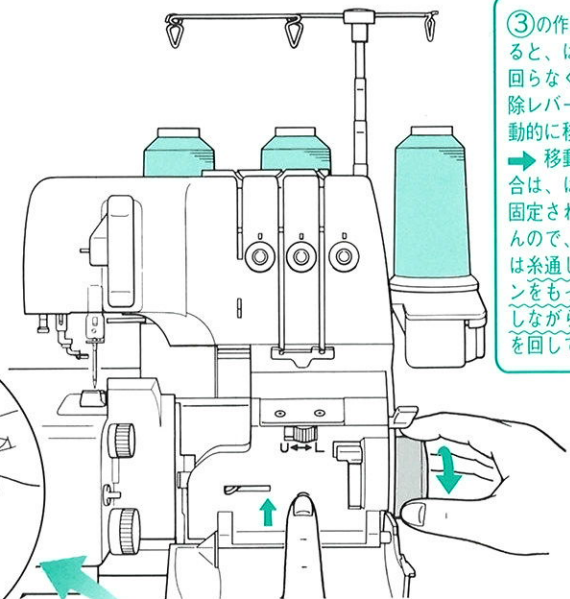


①押え上げレバーで押え金を上げます。

はずみ車の固定



②フロントカバーを開けます。

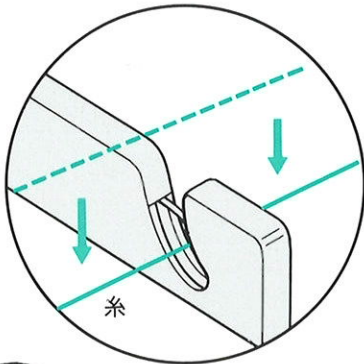
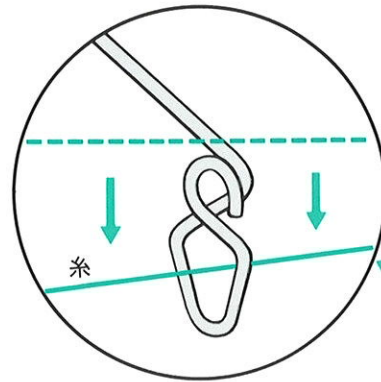


③糸通しセットボタンを押しながら、カチッと音がするまではずみ車を回します。

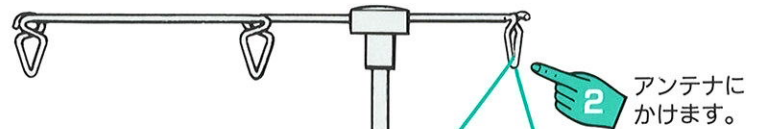
③の作業が完了すると、はずみ車が回らなくなり、解除レバーが左へ自動的に移動します。
→ 移動しない場合は、はずみ車が固定されていないので、再度、今度は糸通しセットボタンをもっと強く押しながらはずみ車を回してください。

(2)下ルーパー糸のかけ方

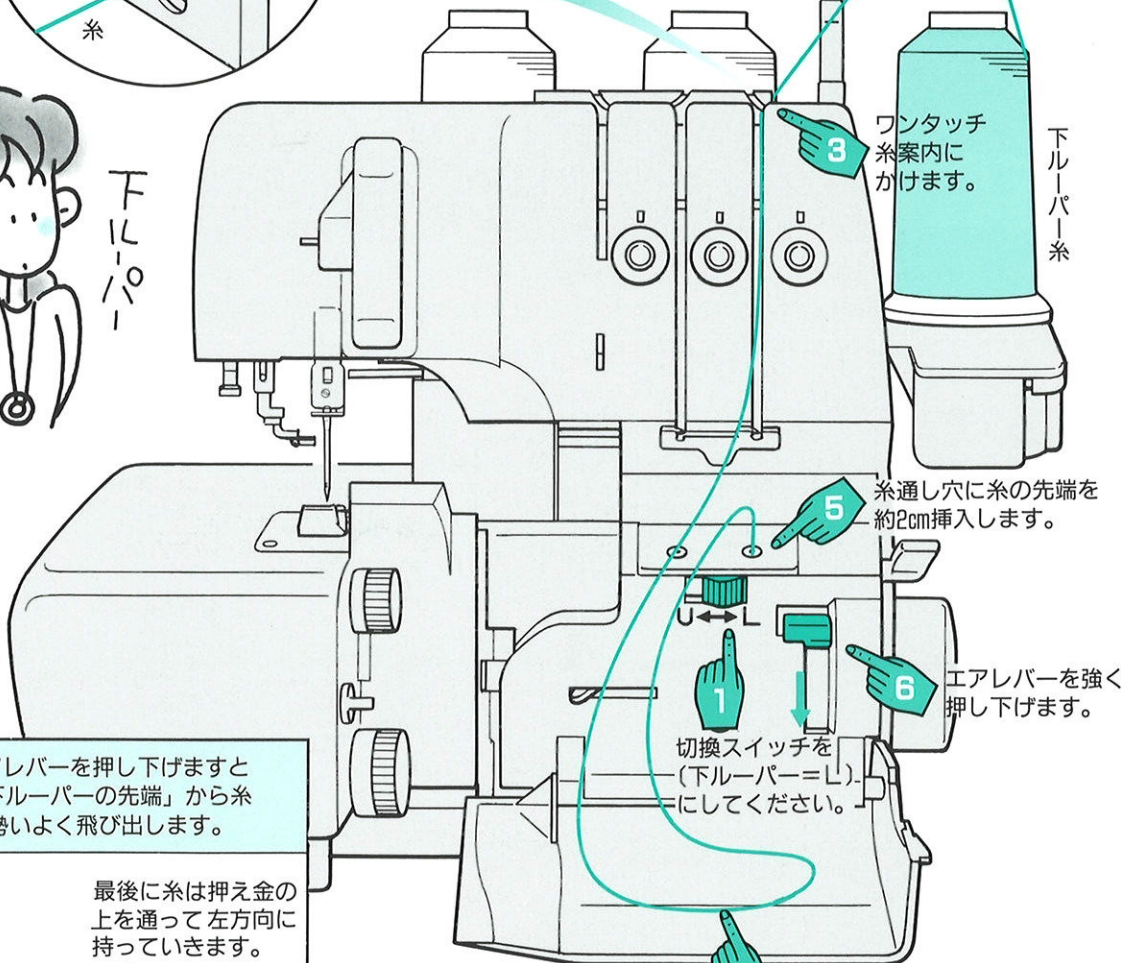
糸かけをする場合は必ずP6の「はずみ車の固定」が行われていることをご確認ください。



下ルーパー

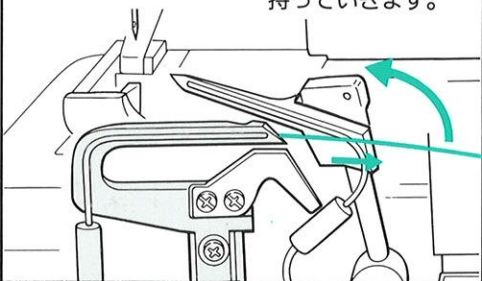


下ルーパー糸
ワンタッチ糸案内にかけます。



6 エアレバーを押し下げますと「下ルーパーの先端」から糸が勢いよく飛び出します。

最後に糸は押え金の上を
通って左方向に持っていきます。



5 糸通し穴に糸の先端を約2cm挿入します。

6 エアレバーを強く押し下げます。

1 切換スイッチを「下ルーパー=L」にしてください。

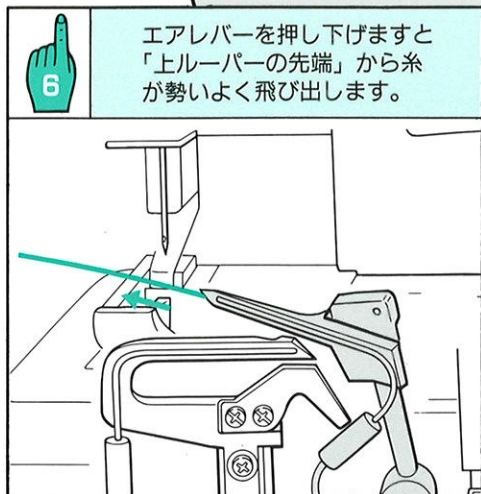
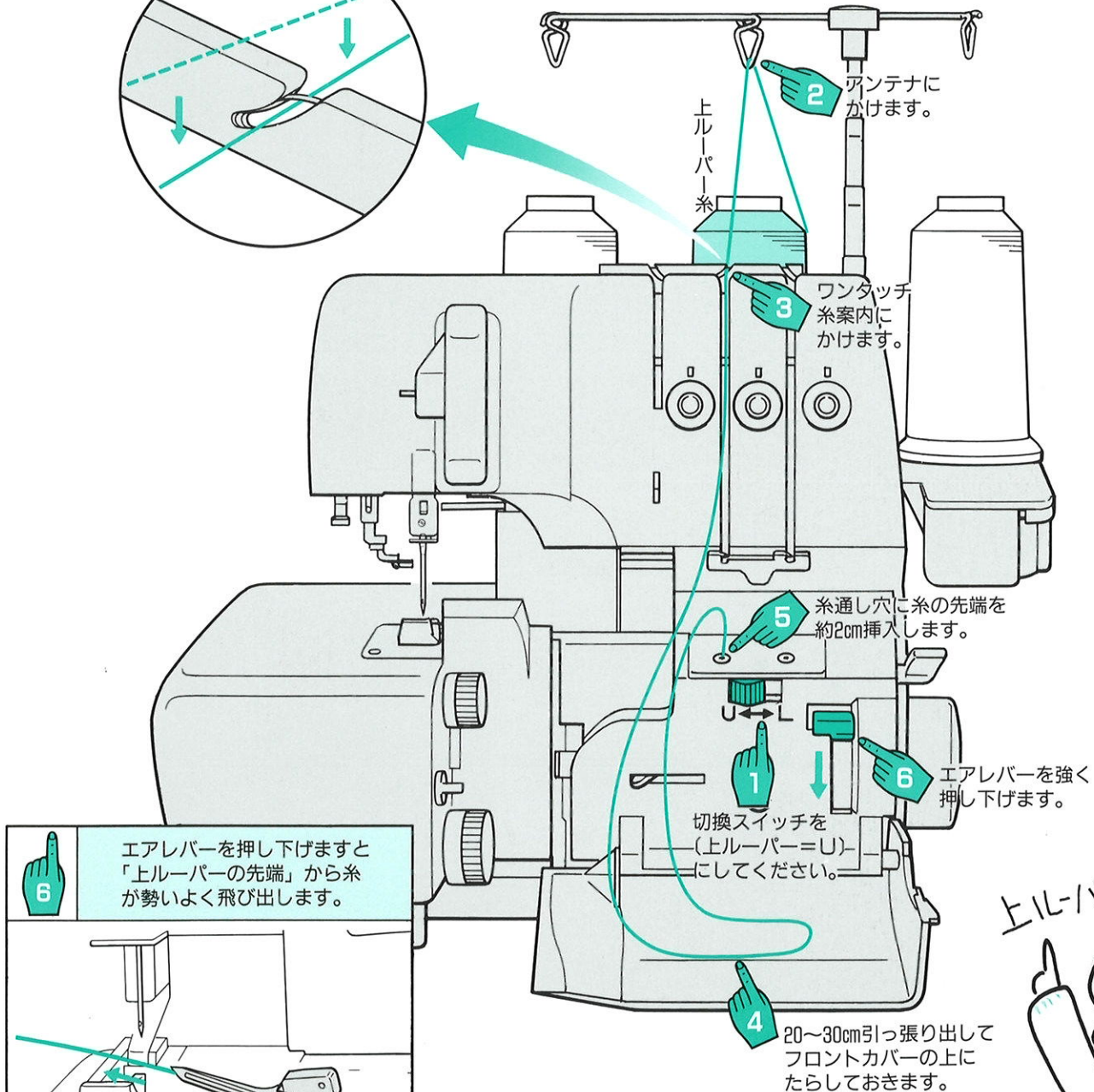
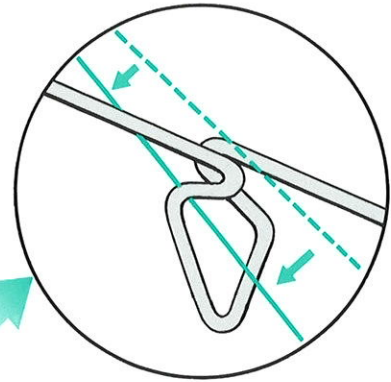
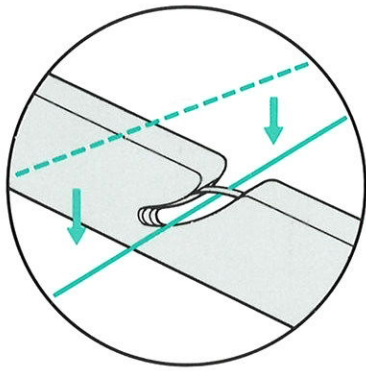
4 20~30cm引っ張り出してフロントカバーの上にとらしておきます。



糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアレバーを押しても糸は通りません。

(3)上ルーパー糸のかけ方

糸かけをする場合は必ずP6の「はずみ車の固定」が行われていることをご確認ください。

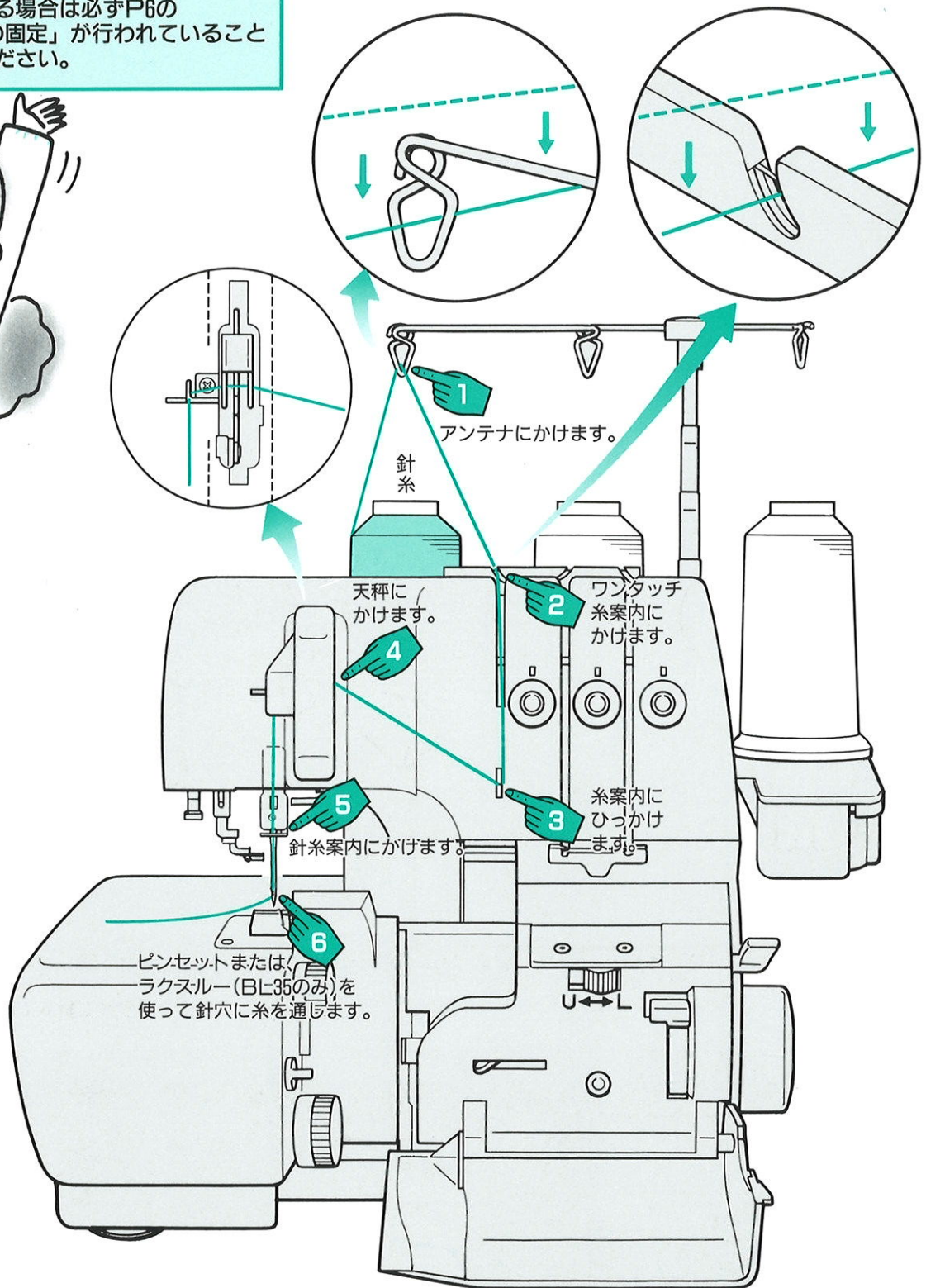


糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアレバーを押しても糸は通りません。



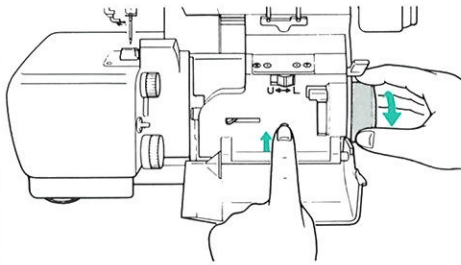
(4) 針糸のかけ方

糸かけをする場合は必ずP6の「はずみ車の固定」が行われていることをご確認ください。



6 ラクスルー(自動針糸通し)を使って針穴に通します。

ラクスルーを使うときは必ず「はずみ車」が固定されていることをご確認ください。



針糸通しレバー

① 針糸通しレバーを下げます。

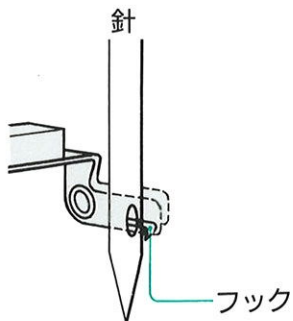
③ 針糸通しレバーをゆっくりと戻します。

②

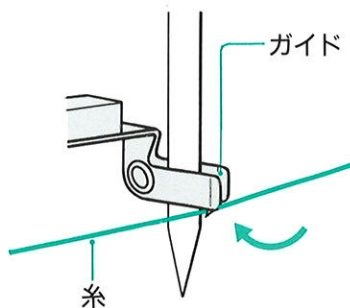
② ガイドに糸を下からひっかけます。



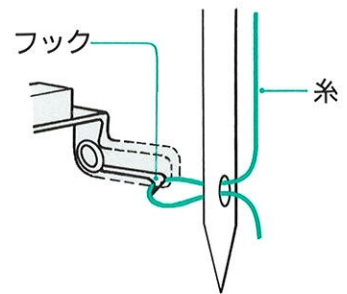
① 針糸通しレバーを下げると針穴にフックが通ります。



② ガイドに糸を下からひっかけます。



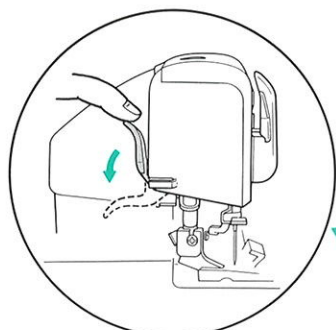
③ 針糸通しレバーをゆっくり戻すと、フックが糸をひっかけて針穴を通ります。



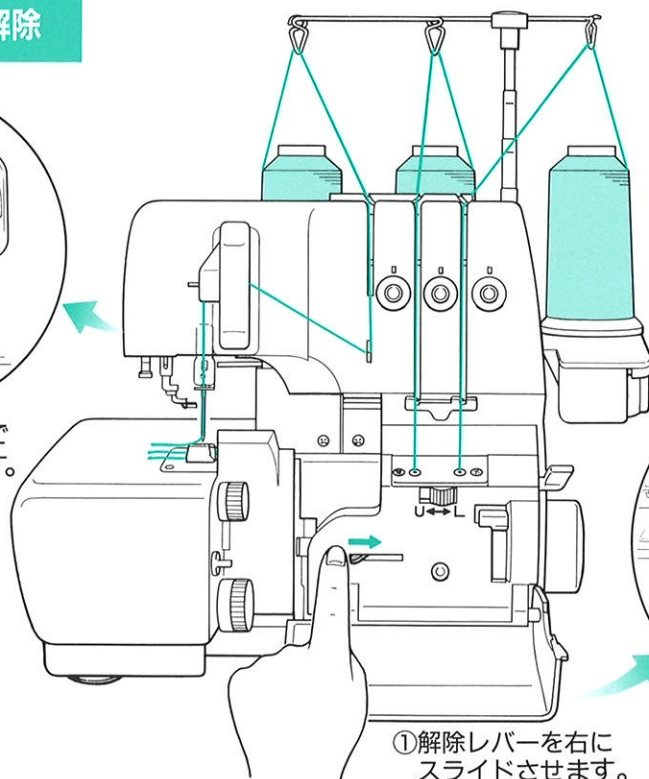
(5)糸かけが終わったら

糸かけが終わりましたら、必ず「はずみ車の固定」を解除してください。
この「解除」をしないでコントローラーを踏みますと故障の原因になります。

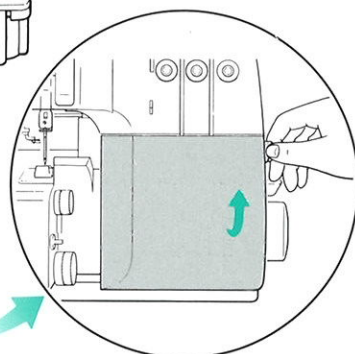
はずみ車の固定の解除



③押え上げレバーで
押え金を下げます。

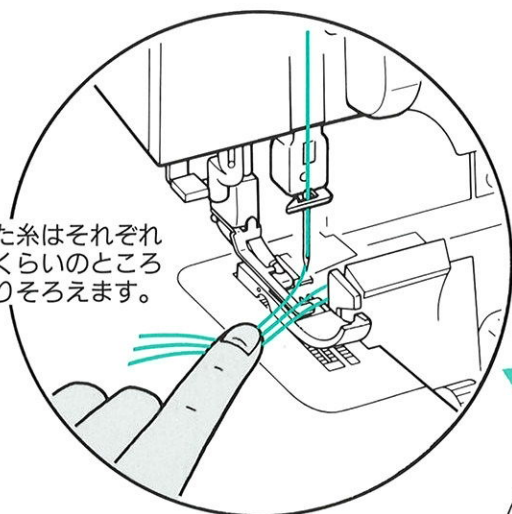


①解除レバーを右に
スライドさせます。

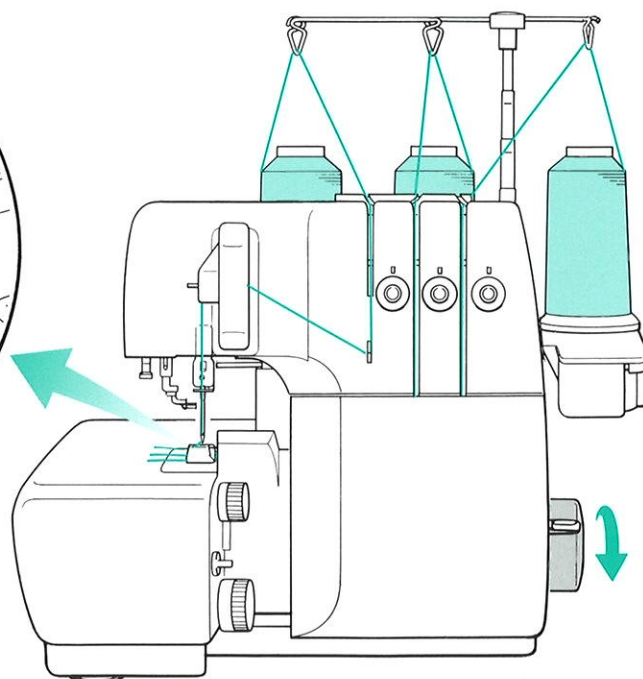


②フロントカバーを閉めます。

通した糸はそれぞれ
10cmくらいのところ
で切りそろえます。



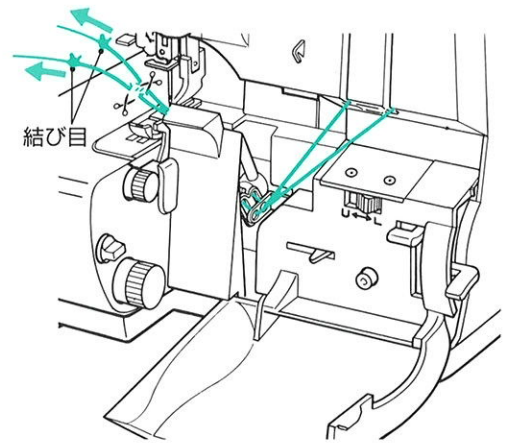
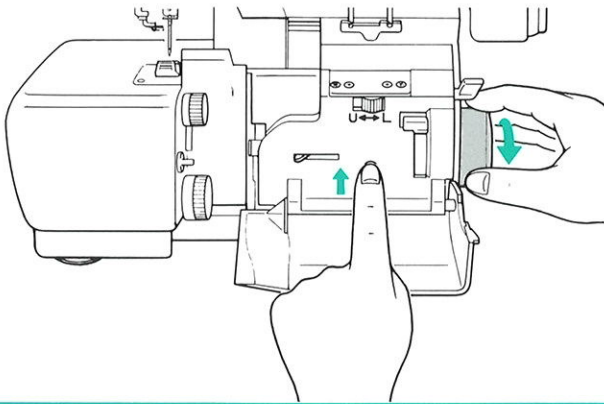
最後に3本の糸を軽く押え、
はずみ車を数回まわして、空環
がうまくできるかを確認してく
ださい。





(6)太い糸のかけ方

エアスルーシステム (自動エア糸通し) の糸通し穴に入らないような、飾り糸として使われる太い糸や毛糸は下記のようにすれば使用することができます。

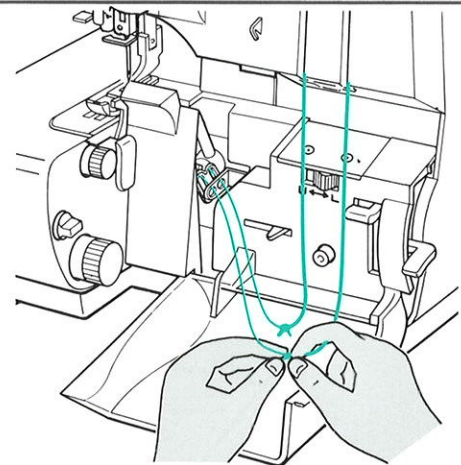
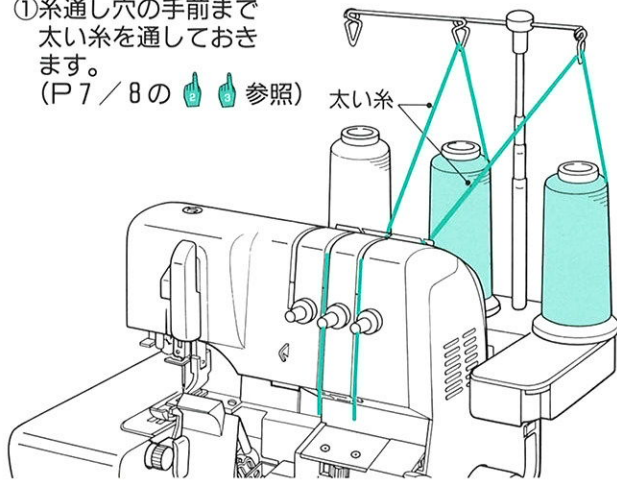
P6の「はずみ車の固定」を行ってください。



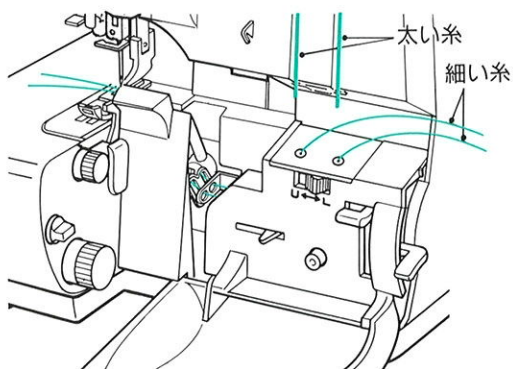
⑤結び目を引き出し、切ります。




①糸通し穴の手前まで太い糸を通しておきます。(P7/8の   参照)

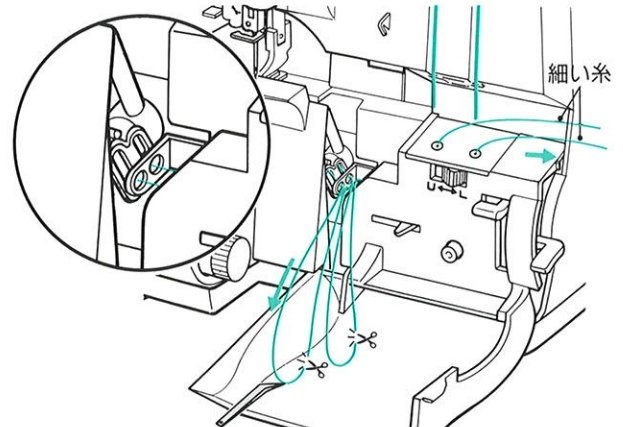
太い糸



④太い糸と細い糸を結びます。



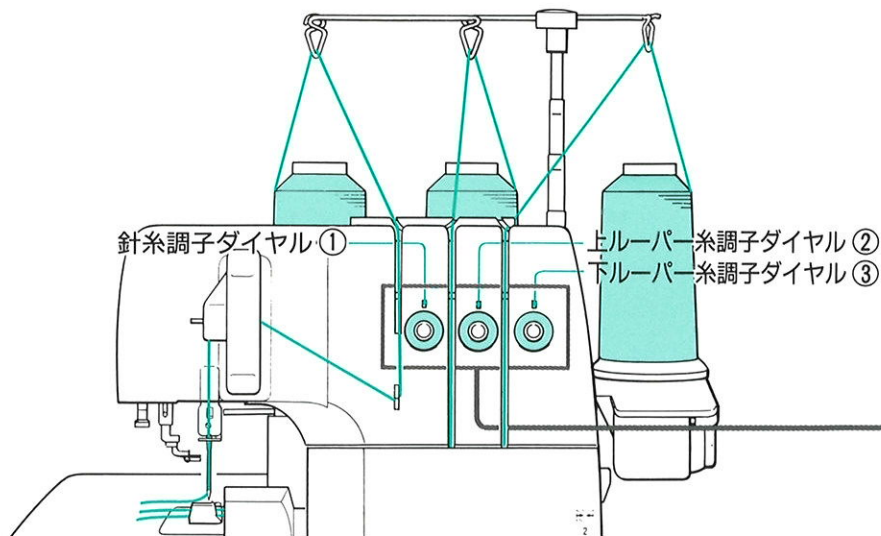
②エアスルーを使ってまず細い糸を通しておきます。(P7/8の   ~  参照) 通し終わったら「はずみ車の固定」は解除してください。



③ピンセットで糸を引き出し、切ります。糸通し穴の細い糸は抜き取ります。

糸調子(糸のバランス)の調整

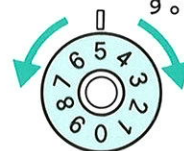
布地の種類や厚さ、また糸の種類や太さによって、縫い目が乱れる場合があります。その場合は、バランスのとれた美しい縫い目になるように、各糸調子ダイヤルで調整してください。



それぞれの糸調子ダイヤルは

数字が小さくなるにしたがって、糸調子は弱くなります。

数字が大きくなるにしたがって、糸調子は強くなります。

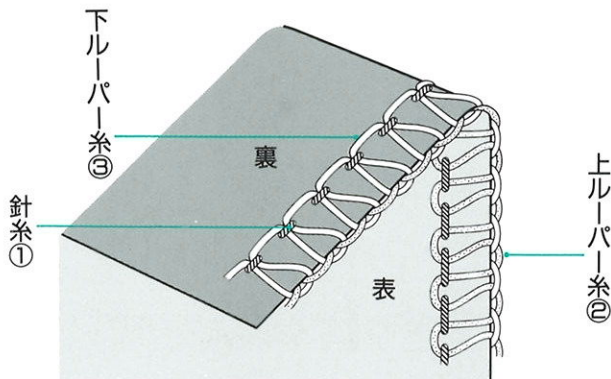


※合わせ縫いをするときは、かがり縫いのときよりも、針糸調子を少し強めにしてください。

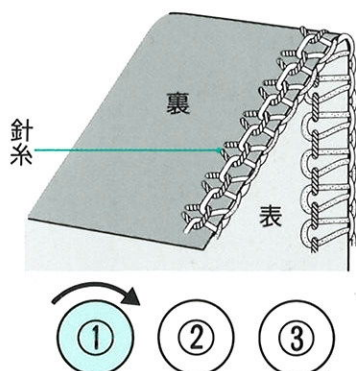
糸調子(糸のバランス)の調整



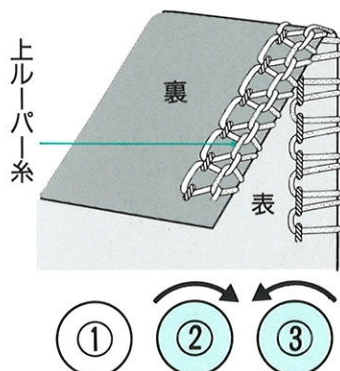
バランスのとれた美しい縫い目



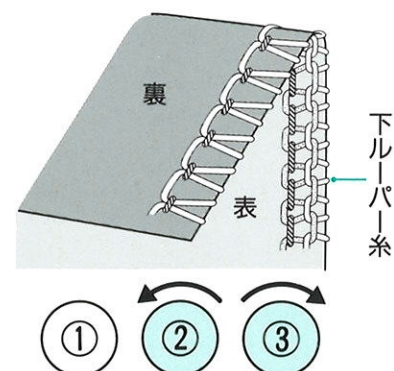
針糸が弱すぎる場合



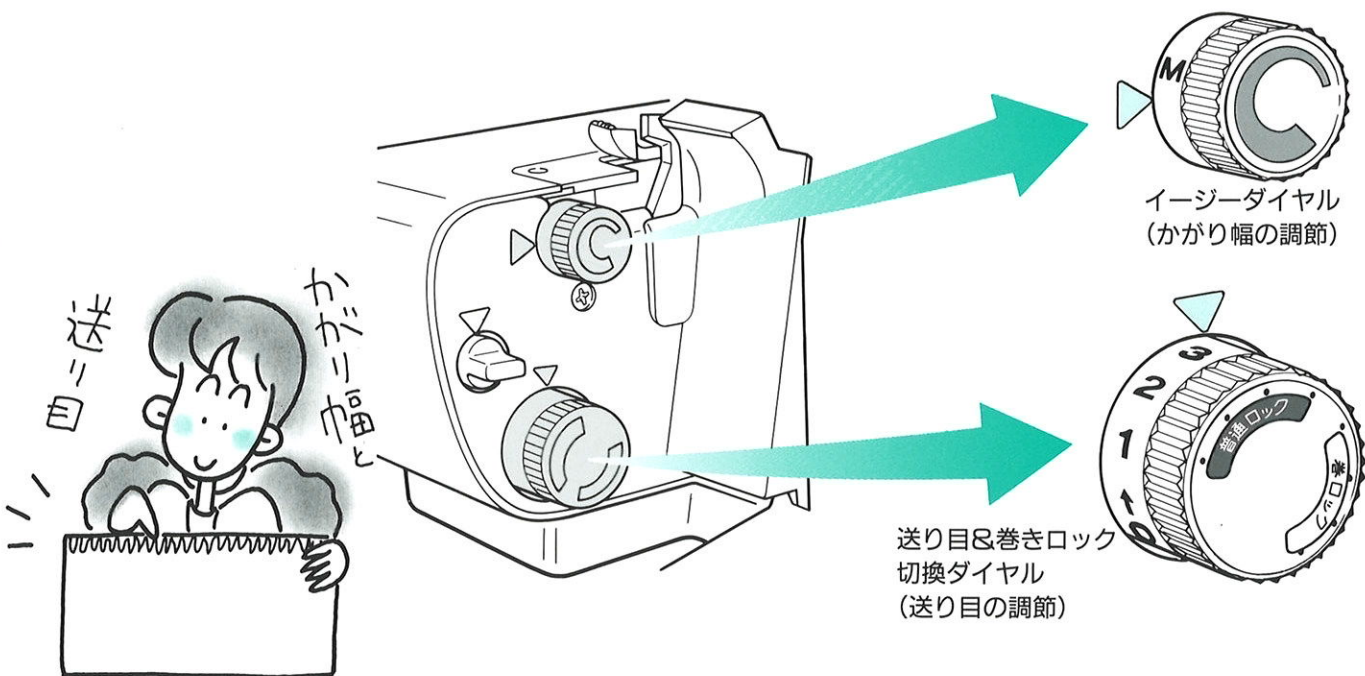
上ルーパー糸が裏側へ巻き込む場合



下ルーパー糸が表側へ巻き込む場合

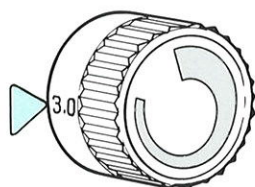
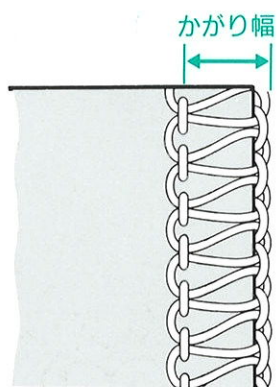


かがり幅と送り目の調節

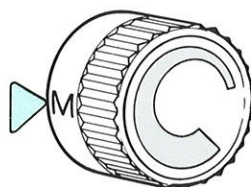


かがり幅の調節

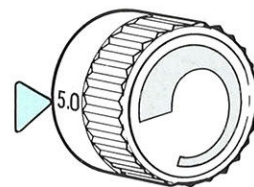
3.0mm~5.0mmの範囲で調節できます。



3.0mm幅



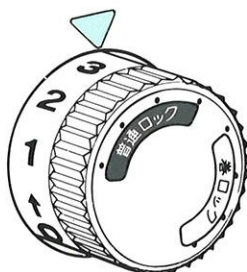
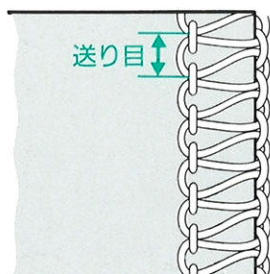
3.6mm幅



5.0mm幅

送り目の調節

普通ロック・巻きロックともに1~4mmの範囲で調節できます。



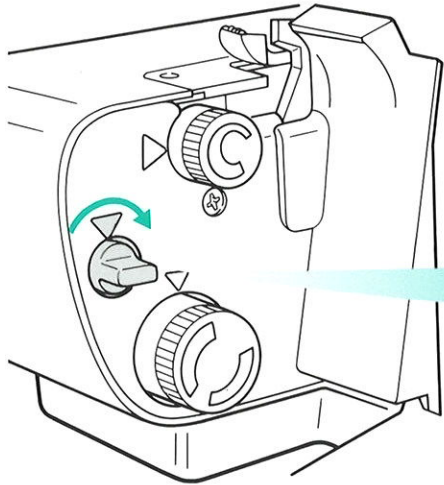
普通ロック



巻きロック

上メスの固定 / 押え圧力の調節

(1) 上メスの固定



ピンタックや飾りステッチなどメスで布地を切らないで縫う場合は、メスロックダイヤルを (LOCK) にしてください。上メスが固定され動かなくなります。



固定された上メスは、そのまま布ガイドとして使用できます。

(2) 押え圧力の調節

滑りやすい生地や厚地を何枚も重ねて縫う場合など押え圧力を調節したほうが縫いやすい場合があります。



コインなどで「押え圧力調節ネジ」を回して調節ください。

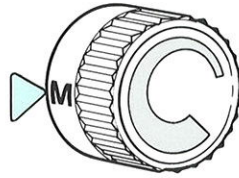
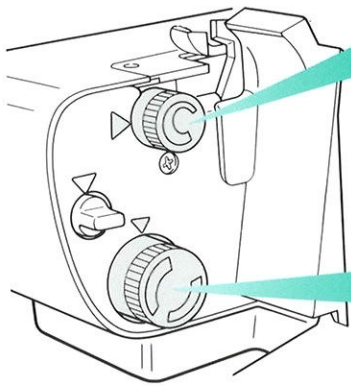
※「衣縫人」は工場出荷時にほとんどの布地に合うように押え圧力が調節されていますので、普段はあまり調節する必要はありません。



巻きロックでの縫い方

「衣縫人」は、布端をひと折りしながら細くかかっていく(巻きロック)で縫うことができます。巻きロックはオーガンジーやジョーゼットなどの薄地の装飾的なかがり縫いに最適です。

巻きロックへの切換



イージーダイヤル

イージーダイヤル(かがり幅)を(M)に合わせます。
※(M)は巻きロックで縫う場合の標準値です。



送り目&巻きロック切換ダイヤル

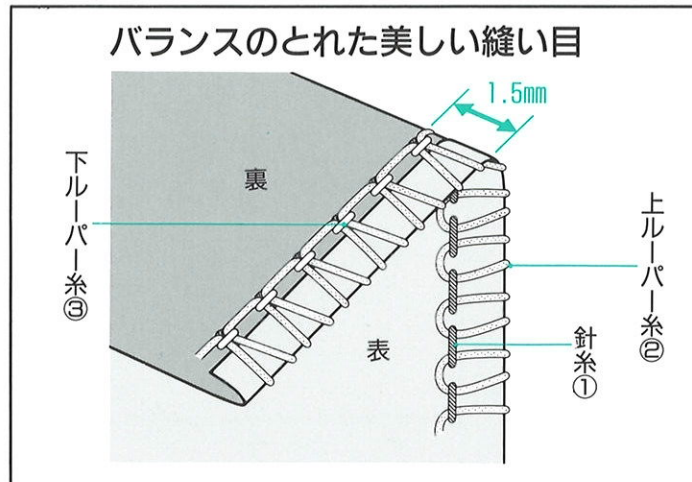
送り目&巻きロック切換ダイヤルを(巻きロック)に合わせます。

※巻きロックの送り目も、普通ロックと同様に1~4mmの範囲で選ぶことができます。

注普通ロック↔巻きロックの切換は一度数字を“4”にしてから任意の数字にしてください。

糸調子(糸のバランス)の調整

巻きロックは布端を裏側に折り込みますので、下ルーパーの糸調子の数値を普通ロックの時よりも3~5強めてください。



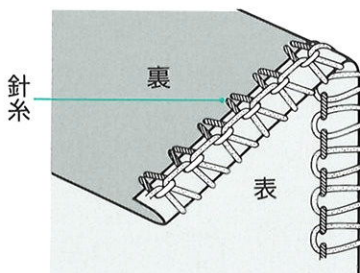
バランスのとれた美しい縫い目

ワンポイントアドバイス

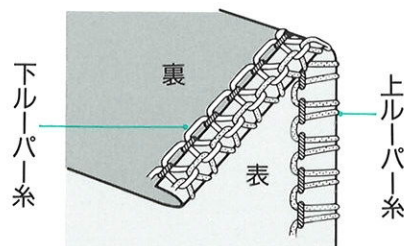
巻きロックをする場合は、針糸・下ルーパー糸に細い糸、上ルーパー糸にウーリーナイロン糸を使うときれいに仕上げることができます。



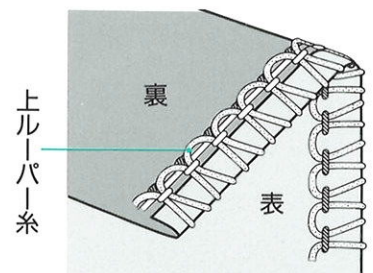
針糸が弱すぎる場合



上ルーパー糸が強い、または下ルーパー糸が弱すぎる場合



上ルーパー糸が弱すぎる場合



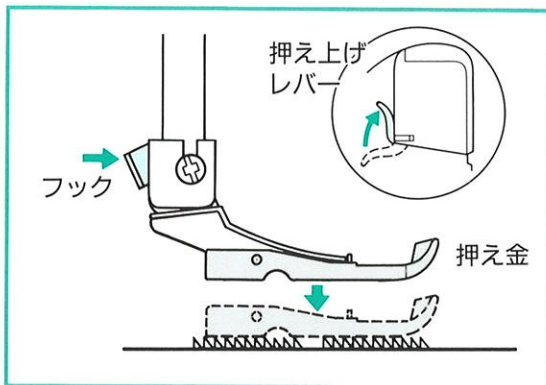
押え金の取り付け・取りはずし方／バルキー押えの使い方

(1) 押え金の取り付け・取りはずし方

「衣縫人」専用アタッチメント（各種押え金）を使用する場合の、押え金の取り付け・取りはずしは、下記の要領で行ってください。

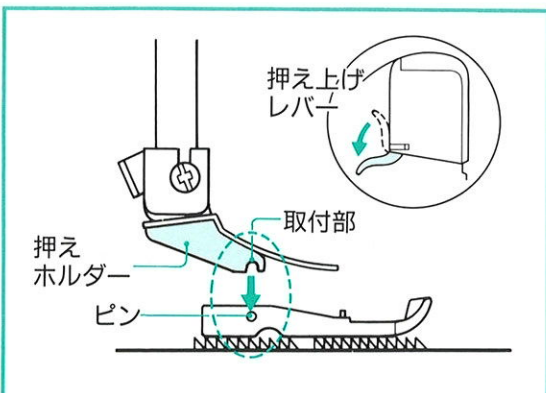
（取りはずし方）

- ① 押え上げレバーで押え金を上げます。
- ② フックを押すと押え金はずれます。



（取り付け方）

- ① 押えホルダーの取付部の真下に、押え金のピンがくるように置きます。
- ② 押え上げレバーを下げます。



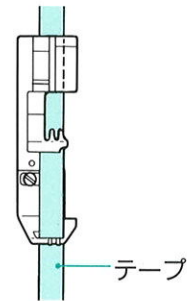
※ 押え金が入りにくい場合は、押え上げレバーを下げたままフックを押してください。

「衣縫人」専用アタッチメント（別売）
裾引き押え ビース押え
ゴム押え（テグス入れ兼用）

(2) バルキー押えの使い方

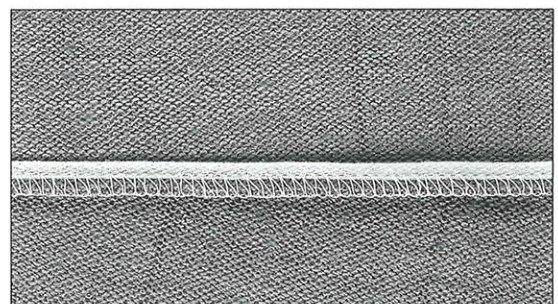
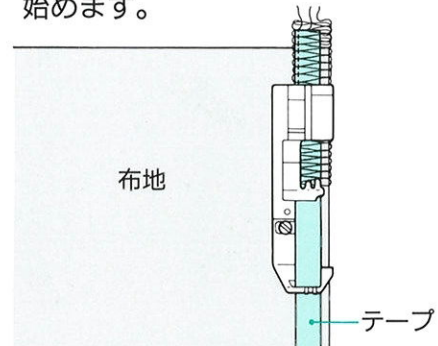
※ BL35のみ付属、BL33は別売
バルキー押えを使用すれば、伸び止めテープ（ウーリースピンテープ）や各種テープを入れて縫うことができます。

- ① バルキー押えにテープを通しておきます。



- ② 針を一番上に上げ、左の（押え金の取り付け方）を参照して、バルキー押えを取り付けます。

- ③ 空縫いしてから、布地を入れて縫い始めます。



肩部分の合わせ縫いに最適

針・メスの交換

【注意！】針やメスの交換は必ず電源を切ってから行ってください。通電したままですとミシンが急に動くなど、危険です。

(1) 針の交換

針は消耗品です。針先が曲がったり、磨耗していると糸切れや目飛びの原因となります。早めに交換してください。

「衣縫人」の針は必ず

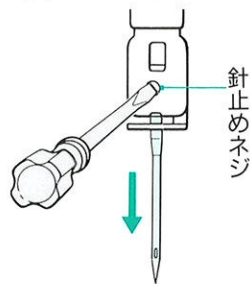
オルガンHA×1SP(#11・14)

をご使用ください。

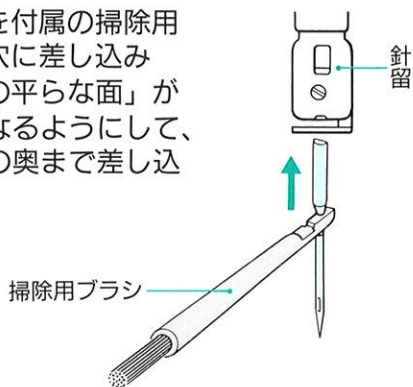
※この針以外は使用できません。ただし、特に針どおりの悪い生地を縫う場合は「オルガンHA×1」の針のご使用をおすすめします。

①はずみ車を回して、針を一番上まであげます。

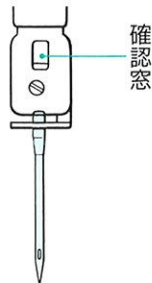
②付属のドライバー(小)で針止めネジをゆるめて、針をはずします。



③新しい針を付属の掃除用ブラシの穴に差し込み「針頭部の平らな面」が後向きになるようにして、針留の穴の奥まで差し込みます。

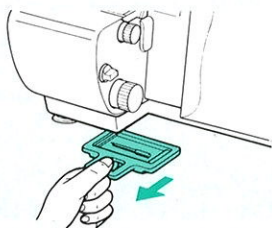


④確認窓で針が一番奥まで差し込まれていることを確認してから 針止めネジをしめます。



ワンポイントアドバイス

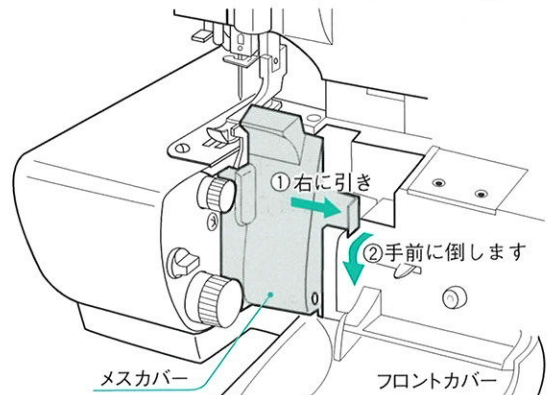
針をメスカバーの奥に落としてしまった場合は、ミシン底部にある取り出し口から取り出してください。



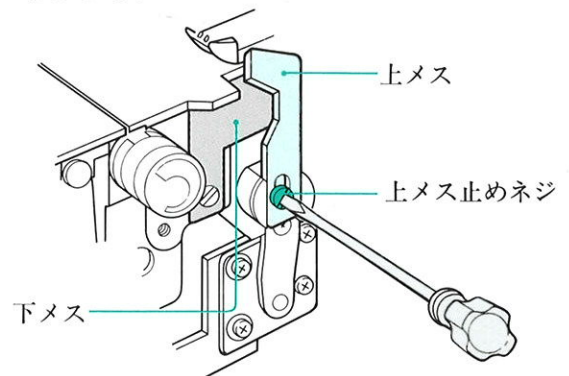
(2) メスの交換

メスは消耗品です。メスが切れなくなった場合は、通常「上メス」を交換してください。

①フロントカバーを開きます。
②下記のようにして、メスカバーを開きます



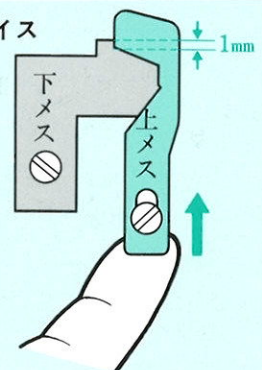
③はずみ車を回して、上メスを最下点にします
④上メスの止めネジをゆるめて、上メスをはずします。



⑤新しい上メスを取り付け、下メスに対して、上メスの刃先が1mm程度沈み込んだ位置で、上メス止めネジをしっかりしめます。

ワンポイントアドバイス

上メスを最下点にして指先で上メスを下から押し上げた位置がだいたい1mm程度沈み込んだ位置になります。

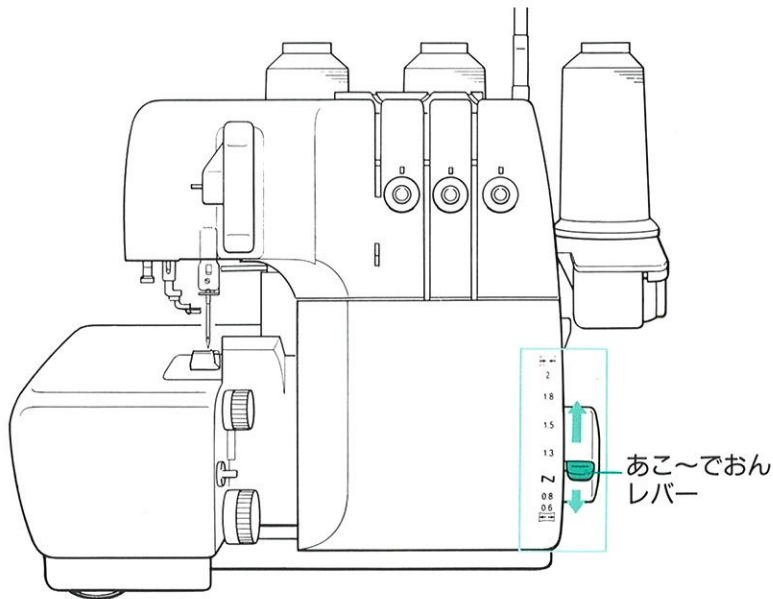


⑥最後にフロントカバーを閉じるとメスカバーも同時に閉まります。



注意 →ケガの原因になります。縫う時は必ずすべてのカバーを閉じてください。



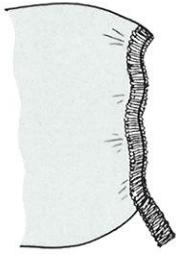
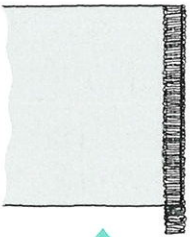

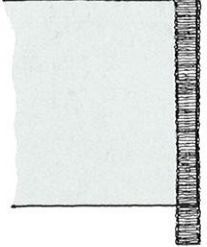




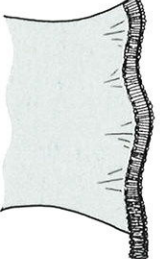

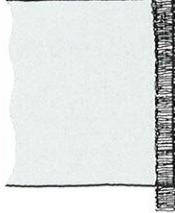
あこ〜でおん(差動)レバーの使い方



縫い上がりが伸びて波打ってしまう生地や
また逆に縫い縮みしやすい生地を縫う場合
は「あこ〜でおんレバー」を使うとたいら
にきれいに仕上がります。

さらにギャザー寄せをしたり、フレアスカ
ートのヘムのいせ込みの際に使用すると
とても便利です。



 2 1.8 1.5 1.3 	縮み縫い	袖山のギャザー寄せ フレアスカートのヘム のいせ込みなど 	ニット地 バイヤス部分 など 	
Z 	通常縫い		 伸びてしまう 生地 	縮んでしまう 生地 
0.8 0.6 	伸ばし縫い	 スカートの裾や ブラウスの衿の フリルなど		 裏地の縁ががり 薄地の巻きロック など 

さらに縮み量を大きくしたいときは、付属の「バルキー押え」をご使用下さい。

修理を依頼される前に

ミシンが動かない等の異常がありましたら、修理をされる前に、下記のことをご確認ください。

状 況	確 認 内 容	参 照 ペー ジ
ミシンが動かない	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	3
	照明ライトスイッチが《I》になっていますか。	3
	はずみ車の固定が《解除》されていますか。	11
縫えない	押え金が下がっていますか。	11
普通ロックがうまく 縫えない	送り目&巻きロック切換ダイヤルが《普通ロック》になっていますか。	14
	あこ〜でおんレバーの位置は正しいですか。	19
	糸調子の調整をしましたか。	13
巻きロックがうまく 縫えない	送り目&巻きロック切換ダイヤルが《巻きロック》になっていますか。	16
	あこ〜でおんレバーが《N》より上になっていませんか。	19
	糸調子の調整をしましたか。	16
	イージーダイヤルが《M》になっていますか。	16
目とび、糸切れがする	針は「衣縫人」指定のオルガンHA×Ispがついていますか。	18
	針は針留の穴の一番奥まで入っていますか。	18
	曲ったり、針先が磨耗している針がついていませんか。	18
	糸かけが間違っていないですか。	6～11
糸調子が強すぎませんか。	糸調子の調整をしましたか。	13
メスが布地を切らない	メスロックダイヤルが《LOCK》になっていませんか。	15
	上メスが磨耗していませんか。	18
糸調子ダイヤルをまわしても糸調子が強くならない	糸かけをする時、押え上げレバーを上げましたか。	6
エアレバーを押しても糸が通らない	はずみ車が《固定》されていますか。	6
	ルーバー糸通し上下切換スイッチの位置は正しいですか。	7・8
	糸通し穴に糸が1～2cm挿入されていますか。	7・8
	糸を手前に20cm位引っぱり出してありますか。	7・8
糸がどこかに引っかかっていませんか。		7・8
		7・8
ラクスルー(自動針糸通し)で糸が針穴に通らない	はずみ車が《固定》されていますか。	6

アフターサービスについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

仕様／注意事項

仕様

かがり幅	1本針3本糸……………3.0～5.0mm
	巻きロック……………1.5mm
縫い目(送り目)	1～4mm
あこ～でおん比率	0.6～2.0(伸ばし・縮みの比率)
メス上下量	6.5mm
押え上り量	5mm
送り歯高さ	0.7mm(標準)
使用針	オルガンHA×1SP(#11、#14)
使用糸本数	3本
照明ライト	100V 15W
ミシンの重さ	7.2kg(モーター付完成品)

(仕様の一部を予告なく変更することがありますのでご了承ください。)



安全にご使用いただくために

ご使用していただくに当たっては、安全のために下記のことをお守りください。

このミシンは、日本国内向け・家庭用です。

FOR USE IN JAPAN ONLY

⚠ 警告



感電、火災の恐れがあります。

- ◇一般家庭用の100V電源をご使用ください。
- ◇使用後やミシンから離れるとき、また停電したときは必ず電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜いてください。



⚠ 注意



感電、火災、ケガの原因となります。



- ◆コントローラーや電源コードの上に物を乗せないでください。



- ◆お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、安全に対し十分に注意を払ってください。



- ◆以下の場所でのご使用および保管はなさないでください。
 - ・強力なスポットライトや熱器具のそば、直射日光の当たる場所
 - ・スプレー製品や酸素、引火性の高い薬品を扱っている場所
 - ・高い場所 ・お子様の手の届く場所

※ミシンの使用温度は0℃～40℃です。

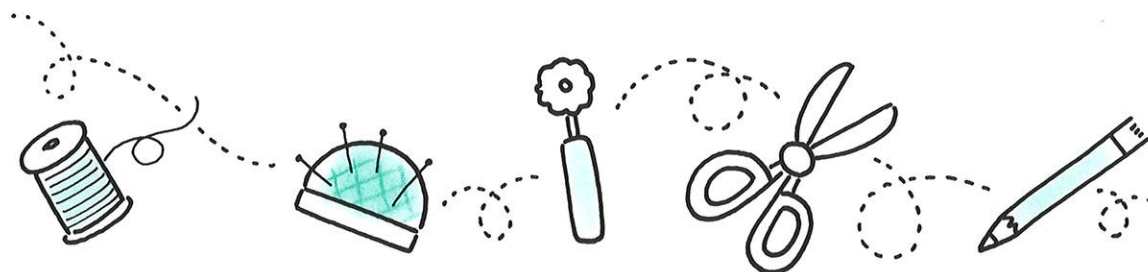
- ◆ミシンおよびコントローラーに水や薬品などがかからないようにしてください。



- ◆以下のときは、必ず電源を切ってください。
 - ・メスの交換をするとき
 - ・針糸やルーパー糸をセットするとき
 - ・針板を交換するとき
 - ・押えを交換するとき
 - ・ランプの交換をするとき
 - ・針を交換するとき

※ランプの交換は、ガラス部分が冷めてから行ってください。

- ◆ミシン本体やコントローラー、電源コードの分解・改造等はしないでください。
- ◆電源コードの接続に、延長コードや分岐コンセントを使用しないでください。
- ◆電源プラグをコンセントから抜くときは、電源スイッチを切ってからプラグを持って抜いてください。コードを引っ張らないでください。
- ◆ミシン本体の換気穴をふさがないでください。
- ◆ミシン内部にドライバーや異物を入れないでください。また糸くずやホコリがたまらないようにしてください。
- ◆以下のときはミシンのご使用を中止し、お近くの販売店にご相談ください。
 - ・電源コードまたは電源プラグが破損、劣化したとき
 - ・落下などにより破損したとき
 - ・ミシンが濡れたとき
 - ・異常な臭いや音がするとき
 - ・正常に作動しないとき
- ◆操作中は針から目を離さないようにし、針、はずみ車、天秤、ルーパーなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。
- ◆ミシンには正規の部品をご使用ください。また曲がった針や破損している針はご使用にならないでください。
- ◆縫製中に布を無理に引っ張ったり押ししたりしないでください。
- ◆ミシンを移動するときは、把手を持って行ってください。
- ◆操作時は、ミシン本体のカバー類（メスカバー等）はすべて閉じてください。



baby lock

株式会社 **ジューキ**

本社/〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-11 TEL.03(3265)2851(代表)

札幌 011(737)6821 仙台 022(292)3773 新潟 0250(43)4451
東京 (03(5825)9020 名古屋 052(917)3671 大阪 06(6768)3651
倉敷 086(473)0355 広島 082(227)5781 福岡 0942(44)7921

修理等のご依頼はお買い上げの販売店を通じてご連絡ください。

お客様へ _____

お買い上げ日、販売店名を記入されておきますと、修理などのときに便利です。

お買い上げ日	年 月 日
販売店名	
	TEL